

「情緒あふれる街並み『小江戸佐原』と

東国随一のパワースポット鹿島神宮・香取神宮」



(鹿島神宮)



(香取神宮)



(鹿島セントラルホテル)



(ジャージャー橋と佐原の街並み)

年金バス旅行は令和元年11月の「富士五湖、カババス」以来ですから実に3年3ヶ月ぶりの企画です。厳重な新型コロナウイルス対策を行ったバスとホテルを使って、鹿島神宮・香取神宮に初詣に参りましょう。神話で出雲大社の大国主命の元へ国譲りの交渉に行った二人の神様が鹿島・香取神宮の主祭神です。合わせて小江戸と言われる佐原の町並みの中の散策をお楽しみ下さい。

行程表

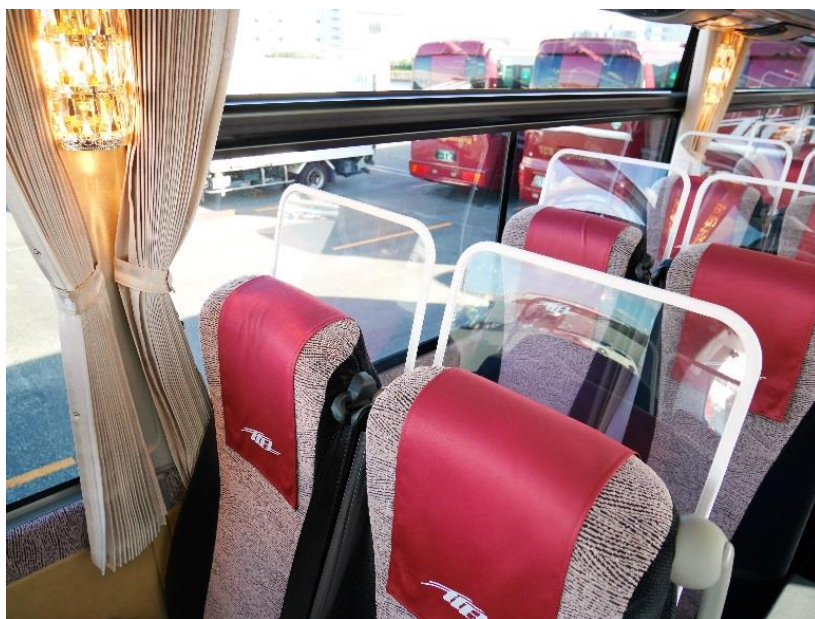
各支店(7:30~8:30)⇒⇒鹿島神宮(10:00~11:20)⇒⇒鹿島セントラルホテルご昼食(11:40~12:50)

*祈祷殿内にて参拝を予定していますが、感染防止のため昇殿できない場合があります。

⇒⇒小江戸さわら散策お買い物(13:20~14:20)⇒⇒道の駅さわらでお買い物(14:30~15:00)⇒⇒

香取神宮(15:10~16:20)⇒⇒各支店(17:30~18:30)

【各支店に集合】(7:30~8:30頃)



(バス車内アクリル・シールドの様子)



各支店の位置により集合時間が前後しますが、8:00頃支店に集合しバスに乗車します。

首都高速⇒東関道を通り、鹿島神宮へ向かいます。途中サービスエリアで休憩を1か所挟みます。

新型コロナウイルス感染防止につきましては座席の上にアクリル板を設置しており、バス内の空気の循環はサーキュレーターで通常より強く循環させています。

【 鹿島神宮 】 (10:00～11:20 予定)



(鹿島神宮大鳥居)

鹿島神宮の御祭神「武甕槌大神」(たけみかづちのおおかみ)は東進中に苦戦していた天照大神軍を救うため香取神宮の御祭神である経津主大神(ふつぬしのおおかみ)とともに出雲の国に天降り、大国主命と国譲りの交渉を行います。その首尾は皆様ご存じの通り、見事いくさが収まって平和裏に解決したのでその功績は大きかったというお話です。

鹿島と香取で神様の主従が変わりますが、その辺はあまり深入りしないで参りましょう。古事記と日本書紀の間でも記述が違います。



参道を歩いていくと楼門が見えてきます。寛永 11 年(1634) 徳川頼房公が奉納したこの門は「日本三大楼門」の一つ。「日本三大」なのかと思うと思わず二度見してしまいます。緑の中にひとときわ朱色が鮮やかです。



(拝殿)



(奥参道入り口)

拝殿の先には奥参道が続きます。この先には「鹿園」や「奥宮」などがあります。150メートルから500メートルほどの距離にありますので、お時間を見ながらお進みください。



広々とした「お札・お守授与所」。こちらでは様々な種類のお守りが販売されており、キャッシュレス対応もしています。神様にも時代の波が訪れています。



ご朱印はこちらの祈禱殿で受け付けています。



【昼食】 鹿島セントラルホテル (11:40～12:50 予定)



(ホテル外観)

昼食は鹿島セントラルホテルで頂きます。コロナウイルス対策が充分にできている施設として厳選いたしました。



(ご昼食会場)

ご昼食会場は密にならないよう広々とした会場です。



ハム・サラミのオードブル。パイ焼きのスープ。メインは牛ロースのソテーです。食後にデザートとコーヒーが出ます。

【道の駅いたこ】(13:05～13:50)



お食事を楽しまれた後は、いば旅あんしん割のクーポンが利用できますこちらへ立ち寄ります。





【小江戸さわら散策】(14:15~15:15 予定)

お買い物の後は、江戸の街並みが残る佐原市内を散策します。



(佐原の街並みと樋橋、橋の中央部下から水が流れています。)

江戸時代の佐原は「小江戸」と呼ばれ、この周辺の町並みには、国指定史跡伊能忠敬旧宅や県指定有形文化財小堀屋本店店舗をはじめ、土蔵造りの古い商家が今なお残っています。このように歴史的景観をよく残し、またそれを活かした町づくりが認められ、関東で初めて「重要伝統的建造物群保護地区」に選定されました。

写真に写っているのは樋橋(とよはし)です。江戸時代の初期、佐原村の灌漑用水を東技岸から西岸に送るため、木製の大きな樋を作り小野川に掛けられたものです。現在の樋は架け替えられコンクリート製となっています。観光用に大樋から水がジャージャー流れ落ちるので「ジャージャー橋」とも呼ばれています。この水は 30 分間隔で放流されていますので見るのができれば幸運です。



(佐原の街並み)



(伊能忠敬旧宅入口)

実測日本地図を作成した伊能忠敬が、この地で30年ほど過ごしていたことから、佐原には伊能忠敬にまつわる場所などが沢山あります。こちらの伊能忠敬旧宅は国指定史跡にも選定されており、無料で見学することができます。



伊能忠敬についてもっと詳しく知りたいと思われた方は「伊能忠敬記念館」もございます。



小野川沿いにありますこちらの施設は、実際の日本地図や測量に使用した道具などのほか、当時の貴重な関連資料も多数展示されており、歴史好きな方もそうではない方も一見の価値があります。当時の日本地図をよくみると、自分の地元の名前が載っているかもしれません。是非探してみてください。

※当館には入館料が 500 円かかります。月曜日は休館日となっております。館内写真撮影禁止ですが、一部写真撮影可能の場所もあります。



(民芸品お土産店)



小野川周辺には雑貨屋さんや食べ物屋さんが点在しています。写真の「とらやき」はテレビでも美味しいと紹介されていました。お勧めのお土産です。



佐原市内の散策に疲れたら、こちらの「さわら町屋館」でお休みください。無料の休憩スペースとなっております。NHKの「ぶらタモリ」でも取り上げられ、タモリさんが2階でお休みしたり1階を見学したりする場面が放映されていました。



お座敷や広場です。この小さな広場は「上川岸小公園」とありますが、江戸古民家の共有中庭スペース。なんだか心が落ち着きますよ。ぜひベンチに腰掛けてみて下さい。

【香取神宮】(15:25～16:30)



続いては香取神宮へ参ります。道の駅からはバスで 10 分ほどです。今回の旅行の最後の見学場所です。参道のお団子屋さんも美味しそうですね。そのまま道なりに進むと鳥居が見えてきます。



香取神宮は、初代神武天皇の御代に創建されたと云われています。御祭神である経津主大神は、天照大神の命により、鹿島神宮の神である武甕槌大神と共に出雲へ派遣され見事交渉を成功させました。今回訪れた鹿島神宮と香取神宮は国づくりにおいて重要な役割を担った由緒ある神宮です。



(表参道)

沢山の灯籠が並びます。歩いてる人よりも大きいですね。なだらかな斜面の砂利道が続きます。駐車場から総門まで 500 メートルほどありますので焦らず、ごゆっくりお願いいたします。



鳥居が見えてきました。奥に見える朱色の建物は総門です。



(総門)

階段が 30 段ほどあります。手すりもございますので気をつけてお上りください。



(楼門)

元禄 13 年に造営され、昭和 58 年重要文化財に指定されました。楼上の額は「東郷平八郎」の筆によるものです。



(拝殿)



お守りはこちらでお求め下さい。



ご朱印は拝殿右手で受付けております。

【帰路】

各支店に午後 6 時前後到着を目指して帰路に着きます。

お疲れ様でした、各支店前で解散しますが、ご自宅までお気をつけてお帰り下さい。

◆令和 4 年度の年金初詣旅行をご紹介して参りました。是非ご参加ください！

【 実施日程表 】

出 発 日	店 名
3月 7日(火)	砂町、玉川、豪徳寺
3月 8日(水)	押上、新小岩、浦安、亀有、石神井、神楽坂、志村、江戸川橋、新柴又
3月13日(月)	深川、京成小岩
3月14日(火)	小山、赤羽、東王子、日本橋、牛込柳町、中野
3月15日(水)	本店、蔵前、秋葉原、堀切、野方、池袋本町、東四つ木、菊川、高田馬場、京橋

*上記支店日程に合わない方は、他支店のご出発日をお選び頂くことができます。

募集人員 : 600 名様(先着)

旅行代金 : 15, 000円(当金庫で年金をお受取中の方)

16, 000円(当金庫で年金をお受取予定の方)

【調査・調整】



地域戦略室 お客様応援課 副調査役 砂治 千晶



名鉄観光サービス(株) 銀座支店 支店長代理 東崎 英行



<https://www.shinkin.co.jp/to-city/>



(香取神宮の総門と銀杏)